

利用者アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
皆様からいただいたご意見には下記のようにご対応させていただきます。(R2 12月～)

皆様いただいたご意見など	このように対応します
【通所介助】 入浴介助の場面において、職員によって介助方法や気づき合いが異なるため満足度が異なる。	入浴介助方法を職員間で再確認し、それぞれの職員が気を付けている点等を共有します。職員のスキルアップを図る目的で入浴介助に関する研修を行います。
【居宅介護支援】 ケアマネジャーとのやり取りの中で、経済的な話が出たことがあまりなく、減免制度などの知識があるのか不安に感じた。	負担軽減や減免の制度に関する知識を日ごろからケアマネジャー間で共有します。また、利用者のアセスメントの中で経済的な情報を把握し、適切な情報を提供出来るようにします。
【地域包括支援センター】 感染予防対策は「充分に行なわれていた」との答えが100%だったが、今後、貸館の再開を受けて来館者が増加しており、感染予防とプライバシー保護の両立が課題である。	貸館制限時期は玄関付近のオープンスペースで相談を受けていましたが、現在は、相談室を基本としています。感染予防策として、アクリル板と換気を可能にするパーテーションを設置しました。相談後は毎回消毒セットで消毒します。
【地域交流・生活支援】 中高年の人達は地域ケアプラザのことを知らない。洋光台駅に専用掲示板を設置してほしい。	広くケアプラザを知ってもらえるよう、今年度から洋光台駅にある横浜市PRボックスの活用を始めました。地域ケアプラザ通信等を定期的に配架しています。Facebookも併せて活用します。

横浜市洋光台地域ケアプラザ
 〈住所〉横浜市磯子区洋光台6-7-1
 〈電話〉045-832-5191 (FAX) 045-832-5138
 〈開館時間〉9:00～18:00
 ※日・祝日のみ17:00閉館(コロナの為)
 〈休館日〉毎月第3月曜日 年末年始休館: 12/29～1/3
 〈交通機関〉JP根岸線 洋光台駅 徒歩12分
 市営バス 107系統 洋光台第四小入口 下車
 111系統 洋光台5丁目 下車 45系統 洋光台6丁目 下車



発行日: 令和3年4月1日
発行責任者: 所長 小島 順

「スイッチON磯子」
(地域福祉保健計画)

地域で支えあえる関係を作
ることを目標にした福祉の
計画です。
「誰もが幸せに暮らせるま
ち」を目指し、様々な取組
みを実施しています。



洋光台 地域ケアプラザ通信

春号
4月5月6月

地域への扉を開こう -新たな仲間とつながろう-

お知らせ
 ・「男性向け地域デビュー講座 地域への扉を開こう - 新たな仲間とつながろう -」を全5回開催します。
 ・講師: NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワーク
 ・受講生募集
 仕事をしながら、地域活動に関わりたい!
 仕事での経験、自分の特技や趣味を生かしたい!
 仲間を作って一緒に楽しみたい!
 “自分らしく”地域で活動するヒントを得て仲間と楽しくつながろう。
 ・開催日: ①5/15(土), ②5/29(土), ③6/12(土), ④6/26(土), ⑤7/10(土)
 ①～⑤全て9:30～11:30
 ・会場: 洋光台地域ケアプラザ ・参加費: 無料
 ◇お申込み方法 4/1(木)から申込開始
 窓口、電話、メールのほか、右のQRコードからも申し込めます。
 お申込み及びお問合せは、洋光台地域ケアプラザまで。
 お申込みの際は、①お名前 ②年代 ③電話番号 ④メールアドレスをお知らせください。
 ☎045-832-5191 ✉youkoudai_cp@yahoo.co.jp 担当: 森



◆体験談

平成19年・20年 ケアプラザで開催した「地域デビュー講座」に参加した
難波江さん(六丁目西自治会 会長)のお話し

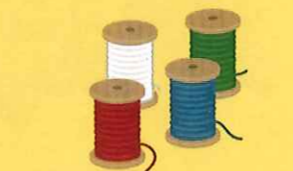
・参加したきっかけ
 当時から、所属していたNPO法人つむぎ会(移送サービス等)のメンバーを増やしたいと思い参加しました。仲間探しが主な理由です。
 ・参加して良かったこと
 参加していたメンバーと既にある活動ではなく、【何かやろう】と団結出来たこと。講座に参加したことで、今までとは違う仲間も増えました。
 ◇講座をきっかけに、平成20年～スタートした「歌声喫茶」は今なお続く、洋光台を代表とする活動の一つになっています。



ミシンのご寄付ありがとうございました。

布おもちゃを作る会「ちくちく」で活用させていただきます。

『ちくちく』は毎月第2・第3火曜日に親子向けのイベントで使う布おもちゃを、ボランティアの方々によっておしゃべりをしながら楽しく作る会です。今までの作品はエプロンシアター・軍手人形・魚釣りなどたくさんあります。最近では布おもちゃの貸出は中止にしていますが、いつでも再開できるようにと新しい布おもちゃの作品を縫っていただいています。



親子の交流スペース ぶらっと

毎週月曜日10:30~12:00 (祝日はお休み)

★布おもちゃで遊ぼう! (第3月曜日)

★だんかぽんの絵本読み聞かせ (第4月曜日)

その他イベントに関する情報はFacebookで発信していきます。



保護者はマスク着用。お子さんのマスク着用はできる限りお願いします。おもちゃ一部貸し出し、水分補給以外の飲食はご遠慮ください。



「QRコード」「検索ページ」からアクセスして 情報をチェック!

洋光台地域ケアプラザ facebook



ケアプラザ協力医の健康コラム(コロナワクチン)

うちのパークサイドクリニック 院長 内野 正文



コロナワクチンの接種ですが、医療従事者に続き、4/12から高齢者にも始まることになりました(2021年2月24日現在)。今号は、コロナワクチンの特徴についてお話ししたいと思います。

ところで、われわれは、病原体に侵入されると異物と認識して、免疫システムが働いて抗体を作り、病原体をやっつけようとします。ワクチンを打つという事は簡単に言うと、「敵に襲われてから対応する武器を作ると間に合わないため、あらかじめ敵に適応できる武器を作っておいて襲来に備える」と言えばわかりやすいでしょうか?

今回使用されるファイザー社製ワクチンは、mRNAワクチンと言われ、これまでのワクチンとの大きな違いは、病原体となるウイルスを全く利用しないという点で画期的なワクチンなのです。

mRNAとは伝令-リボヌクレオチドといって、体を構成するタンパク質を作る命令書といったものです。

まず、コロナウイルスの細胞表面の突起だけを作る命令書(mRNA)をワクチンに入れます。命令書が人体の筋肉細胞に取り込まれ、何と人間の筋肉細胞がコロナウイルスの突起部分を作るのです。これに免疫細胞が反応して、突起(目印)を手がかりに新型コロナウイルスを“敵”として認識させ、敵を攻撃する「抗体」、つまり戦う武器を作り、いつ本物のウイルスが攻撃してきても準備万端というわけです。

従来のワクチンと違った仕組みのため、安全性など躊躇される方もおられると思いますが 病原体を直接入れるわけではないなど、ワクチンとしては理想的な仕上がりだと私は思っています。

開発が拙速すぎるとも言われますが、この理論は随分前から確立されており、ワクチンの認可・製造も人類の危機に対して同時並行的に進行したもので、チェックされる場所はきちんとチェックされていると思います。

ワクチンを打つというのは自分のためでもあります。打つことによって他人にうつさず、結果弱い人を守る壁になり、人のためでもあります。皆さんも接種を前向きにご検討下さい。

おさんぽ文庫



1人2冊まで、本の貸出をしています。(2週間程度)
子どものよみもの、大活字本、実用書、小説などを取り揃えています。